



広報もりよし

発行編集・森吉町役場企画開発課
印刷所・米内沢中央印刷所

(毎月15日発行)

No. 240

1978. 1. 15

迎春



新年のごあいさつ



町長 近藤 富治郎

新しい年を迎え、つつしんでみなさまの御健勝をお喜び申し上げます。

昨年は、世界的な不況に加えて二百カイリ問題や円高問題が日本経済を直撃し国内的には、秋田県が全国一となった米の大豊作とは裏腹に、生産調整問題が深刻化し、これらに起因する町経済への影響は、まことに厳しいものであります。

しかしながら、町行政は町民のみなさま始め、関係各方面の御協力、御支援によりまして国民宿舎や前田基幹集落センター、中学校格技場の完成、同給施設設の整備、町道舗装や米内沢簡易水道の拡張、本城・柏木岱地区等の土地改良事業や二次林構事業、のろ川草地開発付帯事業などが実施され、米内沢、前田両農協の合併についても、組織的な協議が進められてまいりました。

また、昨年は地方自治法施行三十周年にあたりましたが、全国町村議会議長会

から優良町村議会として全国表彰を受けられました町議会には、改めて深く敬意を表するものであります。

本年も、日本経済は悲観的な見方が強く、地方財政は一層厳しさを増すものと予想されますが、当町には懸案の阿仁川ダム建設問題、公立米内沢総合病院の新築、農協合併などの重要問題が山積し、道路や簡易水道の整備拡充、奥地草地の開発、本城の農村基盤総合整備、二次林構事業、前田地区山村振興事業などの各種の継続事業のほかに、老朽化した国保診療所や一部町営住宅の建替が必要とされておりますので、職員ともども自粛と奮起を新たに、この難局に対処してまいりたいと覚悟でございます。

どうかみなさまがたの変わらぬご支援と御協力をぜひお願い申し上げますとともに、一層の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

今年こそ無火災で 消防出初式



消防出初式

大館、北秋田支部長表彰
 ◎七年勤続章 赤石光悦、堀口裕咲、九島政雄、秋元作之助、岸野正蔵、春日勘一郎、庄司忠雄、佐藤宗二、森川富士雄、山田武雄、新林作治。
 ◎希望退職団員に対する感

訓

示

謝状の授与 松橋田米治、池田昭治、春日勘一郎、播磨兵蔵。
 ◎精勤団員表彰 北林照吉、杉田定之助、九島栄治、秋元作之助、神成与太郎、加賀弘、庄司政雄、春日鉄之、柴田一夫、森川竹広、山田武雄、松浦信。

あります。次に、我が森吉町消防団員諸君が一致協力して、日夜消防活動に徹し、常備消防ともども一統乱れぬ協働態勢にありますことは、誠に素晴らしいかぎりでありま

住民登録人口	
昭和52年12月末現在人口	
男	5,420 (+6)
女	5,825 (+1)
計	11,245 (+7)
世帯数	2,773 (+2)

森吉町の消防出初式は、五日午前九時四十分森中生徒のプラバンを先頭にパレードを開始、支所前で団長町長等の観閲をうけたのち前田町民体育館で式典を行いました。

当日表彰された方々は次のとおりです。
 知事表彰

- ◎有功章 金弥土雄。
- ◎三十年勤続章 鈴木鉄雄、森川憲次郎、春日伊一郎、山田良蔵、播磨忠金、播磨兵蔵、吉田作治。
- ◎二十五年勤続章 竹田国夫、金勝助、石崎清蔵、石崎吉蔵、松浦長右工門。
- ◎二十年勤続章 松橋与市、北林照吉、鈴木繁美。
- ◎功労章 松橋一男、秋元常治、九島清一、鈴木市太郎、柴田益吾、播磨兵蔵、松浦長右工門。

町議会定例会

道路改良

第九回町議会定例会は、十二月二十日から二十四日まで開かれ、土木費関係に三、五二六万円の追加など一般会計に五、二五〇万円の追加で、総額は一八億八、五九六万円となりました。可決された主なものは、次のとおりであります。

◎一般会計関係 企画費では五味堀野球場整備に三五八万円、農林関係では、公有林整備事業に一六六万円、商工費では、商工会補助金が一〇〇万円、土木費では舗装修繕に一〇〇万円、道路の除雪関係に六二六万円、大町新町線の改良に二、三〇五万円、羽根川橋架設に二六〇万円など、教育費では、生徒通学費補助二五八万円などがあります。

◎陳情関係
 ▲広葉樹原木供給確保について：桜庭木材株式会社代表取締役 桜庭陸一
 ▲畜産振興について：前田農協組合長 佐藤徳松
 ▲水田利用再編対策について：前田農協組合長、米内沢農協組合長、松橋久太郎
 ▲学校給食について：秋田県学校給食推進振興会長 橋岡貞竜ほか

昭和53年1月5日
 消防団長 柴田直松

文化財審議委員決まる

宮野栄正さん外五名

- 森吉町文化財保護条例制定に伴って発足する文化財保護審議会の新委員に次の六氏が委嘱になりました。
- 宮野 栄正 (駅通り)
 - 清水 常松 (五味堀)
 - 山本 末吉 (桂坂)
 - 奥山 亮宣 (米内沢)
 - 土佐隆二郎 (向木城)
 - 金 豊助 (上御嶽)

公民館に時計を寄贈

本城郷友団

本城郷友団(代表者金勝彦氏)では、このほど、公

学級のお知らせ

- 前田公民館
 和裁学級 毎週(火)と(土) 着付礼法 毎月第一(火)
 短歌講座 不定期
 根森田分館
 和裁学級 毎日
 米内沢公民館
 社交ダンス 毎週(水) 製本印刷講座 (月)

高校生を持つ親の会

先月17日結成

高校生の健全育成を図ろうとする親の会が先月十七日、米内沢公民館で、父兄などおよそ五十名が集って協議の結果、結成されました。当面、米内沢地区が対

「お正月」

佐藤 玉江

お正月——この言葉は私共のように年老いた者にも何かしら夢を抱かせる言葉のように思われます。幼い頃のお正月の何と楽しかったことか。昔は旧正月でした。詰の十二月に入りますと、どこの子供達もウマッコ(お年玉)がいくら入るか、そして、女の子は、晴着を作ってもらうことができるかどうか、期待に胸をふくらませて待っていたものです。母親は、正月用の飯米や餅米を白でつき、豆腐を作り、夜なべ仕事に、私達の

足袋や綿入半等を作ってくれたものでした。薄暗いランプの下で。足袋は、たいてい綿ネルの柄物、男の子は黒木綿で底は晒布をこまかく刺したものでした。それに新しい半でんと新しいもんべ、四五歳の子供達は前後の股の開いたふぐみ。こう揃えてもらえる子は上の部でした。しかし、そのどれかが欠けても子供達は結構自分ばかりお正月が来たものと喜んでいました。お正月にもうウマッコは子供達にとっては大金で

あり、また、このときばかりは何の気がねもなく使うことができるので、村にある一軒か二軒の小さい店に何度も通って、紙袋に入ったタジを引いたものでした。中から大きなフクロバシ(ゴム風船)や小さいサイコロ、コマ等が出て来てお互いに見せ合って喜んだり、がっかりしたものです。餅つきの取粉にできるコジャキ(くず米)は、これで餅を作り、中にアメを入れて閉炉裏のアクに埋めて焼くと香ばしくおいしいものになりました。男の子達は田圃の雪を踏み固めて、年かきの子が自分の人さし指を立てて、「陣取りさ かだる者 この指さ止まれ」と皆を呼び集めて、新調し

たばかりの半でんの袖などほころびを切らすほど遊びふけり、母親から小言をもらう始末でした。田の雪を思い思いに踏んで風上げをしたり、だまこ取り(お手玉)に時の経つのも忘れて叱られたことなど、思い出すと懐しいことばかりです。あれからもう何十年経ったことでしょうか。髪も白いところが多くなり、七十もそう遠くはなくなつたのですが、お正月という言葉は今私にとって、過ぎ去つた喜びと悲しみを思い起こさせ、また、将来に向かって、生ある限り悔のない日々を送りたい、と心に念じさせる言葉でもあります。(文集「母のひとみ」 主宰)

- 象ですが、早い機会に前田地区に支部結成をよびかけることになりました。当日参加できなかった方には、役員が加入よびかけのため訪問することになっています。
- 新役員次のとおり。
- 会長 石川 兼輝
 - 副会長 杉淵喜代司
 - 松橋 五郎
 - 大倉 広
 - 監事 佐藤 篤市
 - 渡辺 永蔵
 - 金 米之助
 - 北林 進
- 会計 北林 進
- 事務局(米内沢公民館)
- 委員
- 本郷上 渡辺永蔵(松山町)
 - 松橋五郎(七曲)
 - 北林 進(天町)
 - 松橋一男(横町)
 - 御所野洋三(新丁)
 - 石川兼輝(天)
 - 大倉 広(学校通)
 - 松岡国之助(裏町)
- 駅前川向
- 北林茂雄(駅前)
 - 畠山茂助(〃)
 - 金弥士雄(川)
 - 松田善作(〃)
 - 佐藤篤市(日)
 - 武石 広(長野)
 - 佐藤 登(鶴田)
 - 武石忠雄(根小屋)
 - 金米之助(本城)
 - 金 末治(〃)
 - 杉淵喜代司(〃)
 - 金田兼蔵(御嶽)

公民館でやってほしい講座がありましたらお知らせ下さい。

図書館が充実しつつあります。ご利用下さい。

(写真) 細田三郎氏筆になる「倉の山、森吉山を望む」



浦田 近藤敏雄(浦田) 奥山幸子(大洲) 藤本好子(浦田) 工藤喜一郎(寄延)

公民館に絵を寄贈 52年年祝い会

昨年の米内沢地区年祝い会では、年治めの記念に、このほど米内沢公民館に十五号の油彩画を寄贈しました。

昭和53年新年祝賀会

たばこは 町内から 買いましょう

恒例の新年祝賀会を元旦に米内沢農協ホールで開催、アトラクションに近藤豊治師範の仕舞「羽衣」、松橋宇吉師範代の「高砂」のほか、米小PTAコーラス部によるコーラス「浜辺の歌」などが披露されました。

民俗随筆

ふんによう譚

柴田清之助

むかし阿仁の百姓家の便所はコガといつて大きな木製の味噌桶の如く竹のタガをかけて作ったものを埋め...

の田に放つて下さいと急いで声をかけたという。路上の馬ふんを集める人もあった。

てなおした。そのとき、皇族の便は別なものと考へ、出立後に便槽をのぞいて見た者がいたという。

旧前田公民館が民俗資料館に

民具をご提供ください

【該当品】農具 ねこ、けら、にな、とうみ、脱穀機、俵編機、その他農具全般
日用雑器 食器、カメ、火鉢、手取釜、ランプ、その他日用品全般
その他 土器、織機、馬具、衣服など、昔のものならなんでも該当
※ 美術品として価値の高いものは借用証を発行し、責任をもって保管します。

公民館や教育委員会にお電話下さい。来春は部落巡回します。

歳末たすけあい募金

ご協力に感謝します

- 町民みなさまの暖かいお心づくしにより、次のとおり成果をあげました。厚くお礼を申し上げます。
※募金総額 六〇四、八四八円
うち大口募金(敬称略) 宮越啓治三〇、〇〇〇円
商工青年部二七、六〇〇円
社交ダンス同好会 二二、二〇〇円

国民健康保険

制度について

病気やケガは、ある日突然にわたしたちをおそうことが多くあります。そんなとき、お金がなくて医者にかかれないということになったら、どうなるでしょう。



くらしと健康を守る(その1)

背負いこまなければなりません。幸い、現在わが国には「国民皆保険」という制度があります。

保育所の申し込みは

2月10日までに

新年度の保育所入所児童を募集しています。児童福祉法に定められた基準があり、誰でも自由に入所できるものではないので、次の入所基準により申し込みしてください。

戸籍問答

私は二年前に夫と離婚しましたが、夫との間には、二人の子供があり、この子供の親権者は母である私です。

入籍届について

私は二年前に夫と離婚しましたが、夫との間には、二人の子供があり、この子供の親権者は母である私です。二人の子供は私と同居していますが、戸籍は別れた夫の戸籍に入っているため、子供と私の姓(氏)が違い、いろいろと都合な場合があります。

▽奇 贈(敬称略) 加賀利男:菅江真澄と秋田の風土、秋田民俗五号。松田元枝:絵本六〇点。萩野文子:すばん先生。松下電器産業KK:人事万華鏡、雑誌ボイス創刊号。秋田県統計協会:毎日小学年年鑑、同統計編。一利用者:無情ということ、

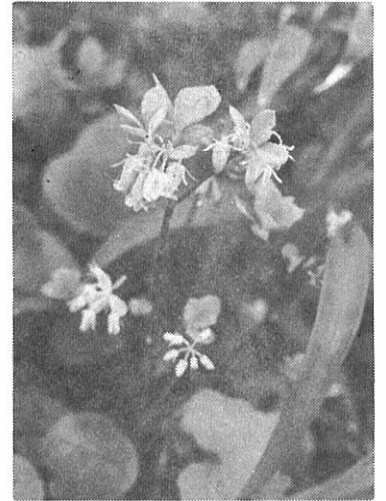
大和路・信濃路、能面殺人事件。▽新 着 ハタハタ(渡辺一)。秋田の野鳥(西出隆)。食品を見わける(磯部晶策)。中世の知識人(ジャック・ルゴフ)。悪魔の手毬唄(横溝正史)。ルーツ上・下(アレックス・ヘーリー)。サザエさん(長谷川町子)。女性のための人生論(堀秀彦)。昭和五十二年神宮館高島曆(高島易断所)。米代川の舟運(松橋栄信)。

まさひでもあぐら(畠山義郎)。秋田の山(奥村清明)。伊藤弥太水墨画集。文章読本(丸谷才一)。日本人にとって未来とは何か(坂本二郎)。宗教理解への道(田村徳善ほか)。昭和の流行歌ヒット曲集、ふるさとの民謡集、想い出の流行歌と軍歌(以上池田書店編)。歌集寒竹(平福百穂)。小資本開店ABC(日本実業出版社)。売場の魅力の作り方(竹中顕)。日本人の性格(宮城音弥)。

①家庭外労働②家庭内労働③母親がいない家庭④母親の人は除かれます。児童の家庭が、次のいずれかの事情にある場合です。ただし、①から⑤までの場合は、その家庭の母親以外の人が児童の保育ができる場合は除かれます。

入籍届は、入籍する者が十五歳未満のときは法定代理人がしなければなりません。また、入籍届は、子供の戸籍がある役場でも母の戸籍がある役場でもできるし、届出人の所在地の役場でもできます。

昭和五十二年分所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までです。しかし、還付を受けるための確定申告は、一月から受付けていますから、源泉徴収された税金や予定納税をした税金が納め過ぎになっている人は、早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。雑損控除、医療費控除、住宅取得控除(初年度)などある方は、お早めに。



高山植物
ウラジロヨウラク

人権擁護委員が

決まりました

十二月十五日付で、次の方々が委嘱されました。
● 森沢 朝 (新丁)
● 吉田朝代 (惣瀬)
● 金沢ヒナ (惣内)

最低賃金が改正される

県内の事業場および労働者に適用される産業別最低賃金が、次のとおり改正されました。すべての事業主は、効力発生の日からこの額以上の賃金を支払わなければならない。労働者を使用することができません。

もし違反した場合は、最低賃金法により罰せられますので、必ず守って下さい。
※木材・木製品・家具・装備品製造業：
二、四六四円(三〇八円)

ただし、家具・装備品製造業に係る業務に従事するものであって、雇入れ後六ヶ月未満の技能習得中の者お

◆ 贈り先：秋田市卸町三の九 秋田県教育図書株式会社内 秋田県よい本をすすめる会。
◆ 秋田県職場総合美術展 作品を募集中です
※資格：県内の事業所に勤務する勤労者。
※種目：日本画、洋画、書道、写真、彫塑、工芸。
※搬入：搬入受付は2月22日午前9時から午後3時
※会期：53年2月24日から28日まで。
※会場：秋田県立美術館・美術ホール

◆ 出品する方は、2月13日までに産業労働部労政課あてに申込んでください。
◆ 財形住宅貸付け 受付は2月28日まで
住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている方を対象に「財形住宅貸付け」の申込受付を行っています。この貸付けを公庫の個人住宅貸付けなどとあわせて利用する場合は、住宅が竣工するまでに申し込むことになっていますが、住宅の竣工が53年3月5月になる予定の方は、必ず2月28日までに申し込みください。
◎ 融資額Ⅱ財形貯蓄残高の二倍。ただし、その額が一千万円をこえる場合は一千万円まで。

◎ 利率Ⅱ年六・八三%
◎ 返済期間Ⅱ木造で十八年以内、簡易耐火構造は二十五年以内。(くわしくは、公庫業務取扱金融機関か住宅金融公庫へ。)

◆ 応募資格：小、中学生
◆ 種目：①秋田県よの本をすすめる会第十三回・第十四回選定特選図書読書感想文。②その他の図書読書感想文。
◆ 長 さ：四百字詰原稿用紙で小学生は四枚、中学生は五枚以内とします。
◆ 表 彰：特選四名、入選二十名、佳作若干名それ

除雪についてお願い

今年も降雪期となり、町では除雪計画に基づいて除雪に懸命に取り組んでいますが、次の事項に注意くださるようお願いいたします。
◎ 道路に駐車させないこと。
◎ 除雪した道路に雪を捨てないこと。
◎ 駐車場の除雪の際は、すみやかに移動すること。(事前に連絡します)
(早朝除雪のため)

善意

香典がえしとして
次のかたがたから、社会福祉協議会に善意が届けられました。ご厚志に感謝を申し上げます。

- 中小企業従業員の退職金共済制度については、町内業者の方々はご承知のことと思いますが、次の要領で加入できますのでご利用ください。
一：加入できる企業は、常時雇用する従業員が三百人(卸売業百人、小売、サービス業五十人)以下の企業。
二：手続きは、申込書に申し込み金を添えて、近くの金融機関に申し込みます。
三：事業主が中小企業退職金事業団と退職金共済契約を結び、毎月従業員ごとに決めた掛金を近くの金融機関に納めます。
四：三年以上掛金を納付している従業員が退職したときは、掛金の納付月数に応じて国庫補助が付きます。(この制度についてのお問い合わせは、県労政課(〇一八八-601-1720)へ。

慶弔 12月

お誕生おめでとう

- 福田 浩之(弘) 駅前
金 剛玄(隆三) 本城
田中多喜子(孝雄) 駅前
佐藤真紀子(富雄) 鶴田
鈴木 仁実(金治) 駅前
三浦 孝之(宏幸) 駅前
野村 修光(米男) 神成
織田 和幸(信雄) 根森田
森川 雅実(雅行) 羽根川
吉田真由美(吉松) 惣瀬
庄司美奈子(照実) 駅前
柏木 忍(実) 桂瀬

ご結婚おめでとう

- 金 福雄 本城
中田とし子 鷹 巢
清水 政信 上小阿仁
武石むつ子 学校通
中嶋 孝男 鷹 巢
森川 祐子 長 坂
菊地 賢一 駅前
前田 洋子 鹿角市
伊藤 耕造 上小阿仁
岸野 知子 五味堀
庄司 忠 通 町
佐々木智子 阿仁町

ご冥福をお祈りします

- 武石 和人(4) 松 栄
柴田 サワ(70) 本 城
成田 常三(55) 駅前
庄司徳五郎(70) 惣 内
吉田モチエ(59) 惣 瀬
三浦 シカ(80) 根森田
戸沢アイ子(25) 小 又